

令和3年12月17日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

介護ベッド用手すりについての注意喚起、電動アシスト自転車用バッテリー（「電動アシスト自転車」として公表）、エアコン、電気こんろに関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

- | | |
|--|------|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うち屋外式（R F 式）ガス給湯器（都市ガス用）1件、
強制給排気式（F F 式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用）1件） | 2 件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うち電動アシスト自転車2件、LEDランプ（環形）3件、
LEDランプ（直管形）2件、エアコン1件、電子レンジ1件、
電気こんろ1件） | 10 件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うち電動アシスト自転車1件、液晶ディスプレイモニター1件、
折りたたみテーブル1件、電気冷蔵庫1件、電気炊飯器1件、
焙煎機（コーヒー豆用）1件、電動車いす（ハンドル形）1件、
脚立（三脚、アルミニウム合金製）1件、
食器洗い乾燥機（ビルトイン式）1件、介護ベッド用手すり1件、
照明器具（投光器、充電式）1件） | 11 件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において、審議を予定している案件
該当案件なし | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません（管理番号：A201900504、A201900706、A201900915、A201901147、A202000152、A202000575、A202000766、A202000839を除く。）。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 介護ベッド用手すりについての注意喚起（管理番号：A202100704）

①事故現象について

施設で使用者（80 歳代）が当該製品に首が引っ掛かった状態で発見され、病院に搬送後、死亡が確認されました。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中です。

消費生活用製品安全法の重大製品事故報告・公表制度が施行された2007年（平成19年）5月以降、報告のあった介護ベッド用手すりの事故件数は以下のとおりです。

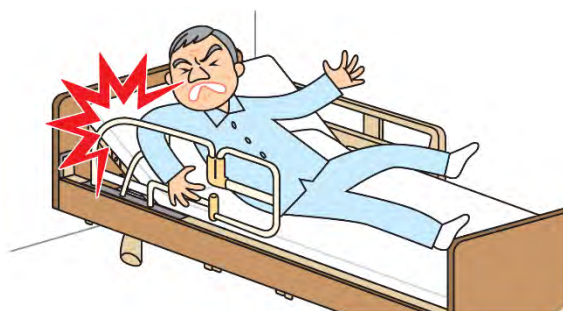
《事故発生件数（当該事故含む）》

2007年度（平成19年度）	12件（うち死亡 8件）
2008年度（平成20年度）	15件（うち死亡 3件）
2009年度（平成21年度）	7件（うち死亡 3件）
2010年度（平成22年度）	12件（うち死亡 6件）
2011年度（平成23年度）	11件（うち死亡 8件）
2012年度（平成24年度）	8件（うち死亡 6件）
2013年度（平成25年度）	1件（うち死亡 0件）
2014年度（平成26年度）	4件（うち死亡 3件）
2015年度（平成27年度）	2件（うち死亡 1件）
2016年度（平成28年度）	2件（うち死亡 1件）
2017年度（平成29年度）	4件（うち死亡 3件）
2018年度（平成30年度）	2件（うち死亡 2件）
2019年度（令和元年度）	2件（うち死亡 1件）
2020年度（令和2年度）	2件（うち死亡 2件）
2021年度（令和3年度）	1件（うち死亡 1件）
合 計	85件（うち死亡 48件）

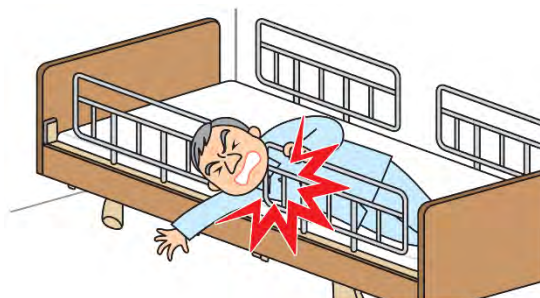
※令和3年12月17日公表時点

②再発防止に向けて（介護を行っている方々へのお願い）

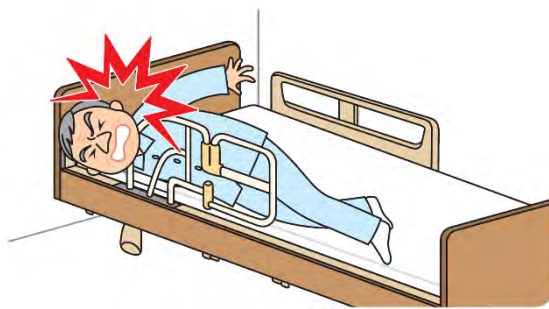
介護ベッド用手すりの使用に際して、これまでに、手すり（サイドレール）等の中に挟まる事故、手すり等の隙間に挟まる事故、手すり等とヘッドボード（頭部の衝立）の隙間に挟まる事故、手すり等とマットレスやベッドフレームに挟まる事故などが発生しています。



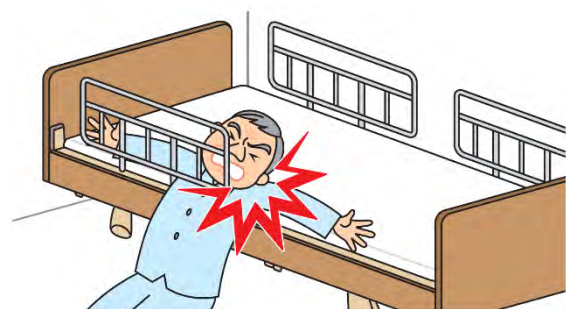
手すり等の中に挟まる事故



手すり等の隙間に挟まる事故



手すり等とヘッドボードの隙間に挟まる事故



手すり等とマットレスやベッドフレームに挟まる事故

○御使用中の手すりが新 J I S 規格に適合した製品かどうか御確認ください

2009 年（平成 21 年）3 月に J I S 規格が改正され、手すりと手すりの隙間及び手すりとヘッドボードの隙間の基準が強化され、安全性が向上しました（別添 2 参照。）。

新 J I S 規格に適合していない手すりを使用する場合、首などを挟み込むおそれがあります。よって、御使用中の手すりが新 J I S 規格に適合したものでなければ、新 J I S 規格の適合製品に取り替えていただくことを奨励します。

なお、新 J I S 規格に適合した製品かどうか不明な場合は、レンタル契約先の事業者又は販売事業者にお問い合わせください。

○新 J I S 規格に適合した製品への取替えが困難な場合など

新 J I S 規格に適合していない手すりを使用する場合には、隙間を塞ぐ対策を確実にとっていただきますようお願いいたします（別添 1 参照。）。

- ・ 隙間を塞ぐ対応品を使用する（対応品の内容については、各メーカーに御相談ください。）。
- ・ クッション材や毛布などで隙間を塞ぐ。
- ・ 手すりなどの全体をカバーや毛布で覆い、手すり自体の隙間に頭や腕などが入り込まないようにする。
- ・ 危険な状態になっていないか、定期的にベッド利用者の目視確認を行う。等

③再発防止への取組

医療・介護ベッド安全普及協議会において、介護ベッド用手すりによる事故についての注意喚起を行っておりますので御覧ください。

また、2012 年（平成 24 年）6 月 6 日付けで、経済産業省及び厚生労働省は、全国の都道府県等の関係部局を通じて、病院、介護施設、福祉用具レンタル事業者などに介護ベッド用手すりによる製品事故の未然防止のための安全点検について依頼を行いました（別添 2 参照。）。

さらに、消費者庁は、注意喚起を行うとともに、地方公共団体への協力依頼、新聞紙上での政府広報等により、事故の危険性の周知や注意喚起を行っています。また、経済産業省、厚生労働省等においても、介護ベッド用手すりの事故についての注意喚起を実施しています。

（消費者庁のウェブサイト）

介護ベッドと柵や手すりとの間に首などが挟まれる事故に注意-毎年死亡事故が発生しています-

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_038/

チラシ「あなたの注意で事故は未然に防げます。チェックリストで確認を!!」

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/other/information_006/

(経済産業省のウェブサイト)

介護ベッド用手すりによる製品事故未然防止のための点検を依頼しました

https://www.meti.go.jp/product_safety/download/kouhyou120606_1.pdf

(厚生労働省のウェブサイト)

介護ベッド用手すりによる製品事故の未然防止のための安全点検について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002cv6c.html>

(独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）のウェブサイト)

安全な暮らしを高齢者と共に ～事故を防ぐ注意ポイントを紹介～

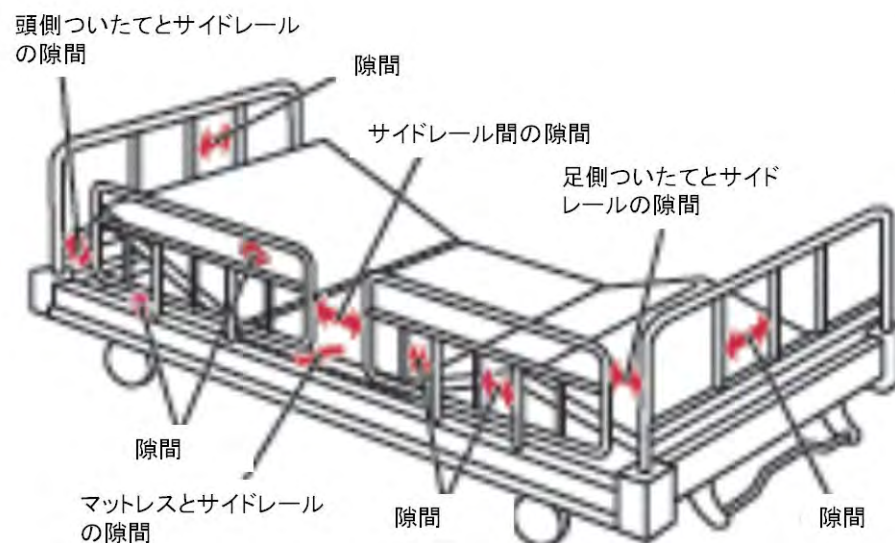
<https://www.nite.go.jp/data/000094205.pdf>

(医療・介護ベッド安全普及協議会のウェブサイト)

<http://www.bed-anzen.org/>

介護ベッド用手すりの事故防止対策(具体例)

ここが危険な隙間です！



挟み込み防止対策の例
(隙間を塞いで挟まれないようにする)

▼補助具(事業者が提供)で隙間を塞ぐ

〔頭側ついたてとサイドレールの隙間〕 〔サイドレールとサイドレールの間の隙間〕



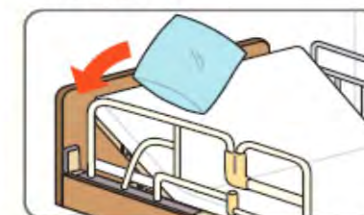
▼サイドレールカバー(事業者が提供)で覆う



▼スペーサー(事業者が提供)で隙間を塞ぐ



▼クッションやタオルなどで隙間を埋める



※ 平成21年3月にJIS規格が改正され、首や腕、足などを挟み込む事故を防ぐため、隙間に関する安全基準を強化した新JIS規格に適合した製品が製造・販売されています。早めに新JIS規格に適合した製品への取替えをお願いします。

医療・介護ベッド安全点検チェック表

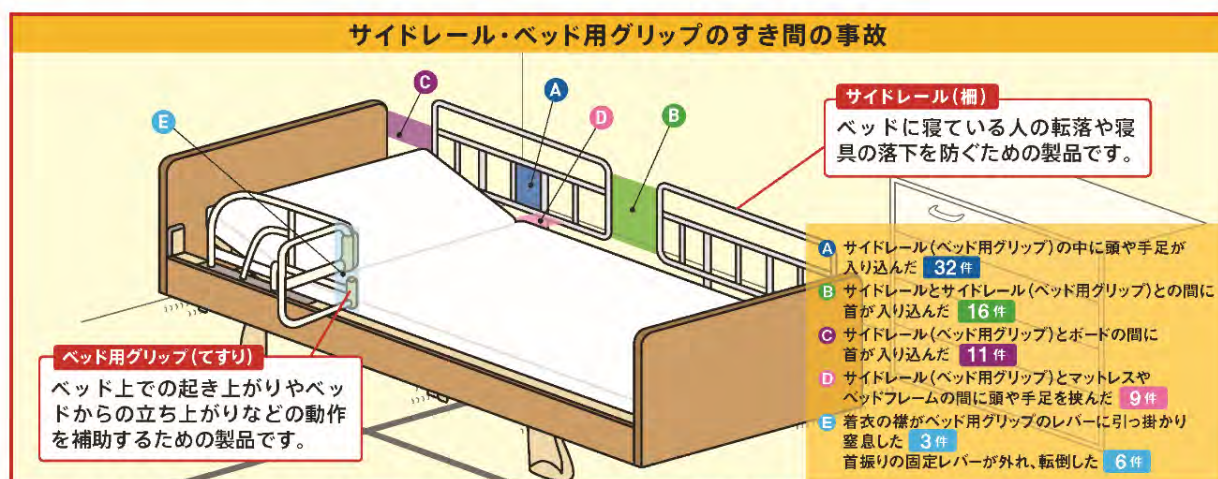
医療・介護ベッドを安全にお使いいただくために

サイドレール内部のすき間や、サイドレール、ベッド用グリップ等とのすき間は、頭や首の挟み込みによる事故のリスクが大きい部分であり、**死亡事故等**が報告されています(特に、JIS規格が改正された2009年以前の製品で多く報告されています)。

これらの事故の多くは、利用者の身体状況や使用状況によると思われるものであり、危険な部分があるかどうかの確認と正しい使い方によって未然に防ぐことができます。

サイドレール等による事故を未然に防止していただくため、この「**医療・介護ベッド安全点検チェック表**」に基づいた点検を実施し、必要に応じて対応を行ってください。

また、「医療・介護ベッド安全普及協議会」のホームページでは、事故事例とその対応策を紹介した動画「**医療・介護ベッドに潜む危険**」を見ることができますので、併せてご利用ください。



■2007年5月14日～2020年10月31日集計 消費生活用製品安全法に基づく重大事故として報告されたもの

※重大事故:死亡、負傷または疾病であってこれらの治療に要する期間が30日以上等

最新のベッドはどうなっているの？

2009年3月に介護ベッドのJIS規格が大幅に変更され、サイドレールとサイドレールのすき間だけでなく、安全に関わる数十項目が厳しく規定されました。さらに、国際規格との整合のために、2015年12月にも改定されました。

衣服が絡みつような形状でないこと。

ベッド用グリップの開閉テストで1万回をクリアすること。

サイドレール内の空間は直径**12cm**の物が通らないこと。

サイドレールとサイドレール、サイドレールとボードのすき間は直径**6cm**の物が入り込まないこと、もしくは**31.8cm**以上であること。

ベッドとサイドレール、ベッド用グリップの適合する組み合わせを明確にすること。

項目の代表例(JIS規格文を要約しています)

JIS T 9254



【JISマーク表示例】

JISマーク付きのベッドでは事故は起きないの？

JISマーク付きの製品は、その製品が一定の品質や性能を確保していることを証明するものですが、使い方を誤ると重傷や死亡に至る事故は発生します。取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

医療・介護ベッド安全点検チェック表

氏名

記入日: 年 月 日

チェック項目

※チェック項目ごとに危険がないか確認し、必要に応じて対応を行ってください。
※チェック項目が該当しない、もしくは対応したら☑を入れてください。

チェック項目	事故事例と対応方法例	チェック欄
①ボードとサイドレール等の間に首を挟み込みそうなき間はありますか？ (首の挟み込みに対して、より安全であるためのすき間寸法の目安は、直径6cmの物が入り込まないこと、もしくは23.5cm以上です。) 	＜事故事例＞ 無理な体勢でベッドの下にある物を取ろうとした時に、ヘッドボードとサイドレールのすき間に首を挟み込んでしまった。 【対応方法例】 ●ベッド周りを整理整頓し、利用者が身を乗り出さないように配慮しましょう。 ●ボードとサイドレール等のすき間をクッション材や毛布等を入れて埋めましょう。 ●JIS規格が要求する寸法を満たすサイドレール等に交換しましょう。	☐  クッションなど
②サイドレールとサイドレール等の間に首を挟み込みそうなき間はありますか？ (首の挟み込みに対して、より安全であるためのすき間寸法の目安は、直径6cmの物が入り込まないこと、もしくは23.5cm以上です。) 	＜事故事例＞ ベッドの背中を上げた状態で、介護者が目を離している間に利用者がバランスを崩し、2本のサイドレールのすき間に首を挟み込んでしまった。 【対応方法例】 ●利用者から目を離す際は、ベッドの背中を必ずフラットに戻しましょう。 ●すき間を埋める対応品を利用しましょう。 ●JIS規格が要求する寸法を満たすサイドレール等に交換しましょう。	☐  スパースー
③サイドレール等に頭が入り込みそうな空間はありますか？ (頭の入り込みに対して、より安全であるための目安は、直径12cmの物が通らないことです。) 	＜事故事例＞ ベッドから起き上がる際にバランスを崩し、サイドレール内の空間に頭が入り込んでしまった。 【対応方法例】 ●カバーで覆われたサイドレールや後付カバー等を必要に応じて利用しましょう。 ●すき間が小さく、より安全なサイドレール等に交換しましょう。	☐  サイドレールカバー
④利用者の状態を確認しながら、ベッドの操作を行っていますか？ 	＜事故事例＞ 利用者の手や足がサイドレールの中に入っている状態で、介護する方がベッド操作をし、手や足を挟んでしまった。 【対応方法例】 ●ベッドを操作する前と、操作中最低1度は動作を止めて利用者の状態を確認しましょう。(※看護・介護する方が立っている場所と反対側は、布団などの死角となり特に注意が必要です。) ●カバーで覆われたサイドレールや後付カバー等を必要に応じて利用しましょう。	☐  サイドレールカバー

※すき間を埋める対応品、カバーで覆われたサイドレール等や後付カバーは各メーカーにお問い合わせ下さい。

※2015年12月のJIS改定では「23.5cm以上」が「31.8cm以上」に変更されていますが、安全上重要な点は改正後も同等とされています。

作成: 2020年12月10日

S 医療・介護ベッド安全普及協議会

【ホームページ】<http://www.bed-anzen.org>

【お問い合わせ先】03-3648-5510 平日:10時～17時(土日祝、年末年始を除く)

ホームページではベッドを正しく安全にご利用いただくための「動画」や「パンフレット」を掲載しています。

(2) パナソニック サイクルテック株式会社が製造した電動アシスト自転車用バッテリー（「電動アシスト自転車」として公表）について

（管理番号：A201900504、A201901147）

①事象について

パナソニック サイクルテック株式会社（法人番号：1122001021103）が製造した電動アシスト自転車のバッテリーを焼損する火災が発生しました。

調査の結果、当該製品のバッテリーに内蔵されたリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2020年（令和2年）4月21日にウェブサイトへ情報を掲載し、翌22日に新聞社告を行うとともに、販売店への協力要請を行うなど、対象製品について無償製品交換を実施しています。

③対象製品：バッテリーパック品番、ロット記号、JANコード、製造期間、
対象個数

バッテリー パック品番	ロット記号 （※1）	JANコード	製造期間	対象個数 （※2）
NKY454B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389665824	2012年10月16日 ～ 2014年12月8日	4,920
NKY451B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389665602	2012年10月17日 ～ 2014年12月12日	9,492
NKY452B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389665725	2012年10月17日 ～ 2014年12月15日	63,836
NKY494B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389668429		
NKY496B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389667729		
NKY497B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389667224		
NKY498B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389667620		
NKY514B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389668221		

NKY450B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389665527	2012 年 10 月 17 日 ～ 2014 年 12 月 19 日	216, 130
NKY486B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389666425		
NKY487B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389666524		
NKY488B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389666623		
NKY493B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389667521		
NKY495B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389668821		
NKY513B02	Q*****、 R*****、 S*****	4519389668122		
NKY449B02	R*****、 S*****	4519389665404	2013 年 1 月 8 日 ～ 2014 年 12 月 8 日	9, 902
NKY490B02	R*****、 S*****	4519389666807	2013 年 12 月 4 日 ～ 2014 年 12 月 8 日	9, 856
NKY491B02	R*****、 S*****	4519389666722	2013 年 12 月 4 日 ～ 2014 年 12 月 12 日	26, 905
NKY511B02	S*****	4519389667910	2014 年 10 月 14 日 ～ 2014 年 12 月 15 日	1, 440
NKY510B02	S*****	4519389667811	2014 年 10 月 20 日 ～ 2014 年 12 月 22 日	2, 580
NKY512B02	S*****	4519389668016	2014 年 11 月 4 日 ～ 2014 年 12 月 9 日	1, 230
合 計				346, 291

(※ 1) *の部分には 10 桁の英数字が入ります。

(※ 2) 対象個数は、2015 年 7 月 27 日及び 2016 年 9 月 26 日にリコール社告したものを除いた個数です。

2020 年（令和 2 年）4 月 21 日からリコール（無償製品交換）を実施
回収率 60.1%（2021 年 11 月 30 日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2012 年度以降の事故（原因調査中及び管理番号：A201900504、A201901147 を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2021年度	0	—	2016年度	1	火災
2020年度	1	火災	2015年度	0	—
2019年度	4	火災	2014年度	0	—
2018年度	1	火災	2013年度	0	—
2017年度	2	火災	2012年度	0	—

<対象製品の確認方法>



※同社では、電動アシスト自転車用バッテリーについて、2015 年 7 月 27 日付け及び 2016 年 9 月 26 日付けで既にリコールを実施していますが、今回は対象製品が異なります。前回のリコールにおいて対象外であった場合でも、再度バッテリー品番及びロット記号の御確認ください。

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償製品交換を受けていない方は、充電をせずに周辺に可燃物がない場所で保管するとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

パナソニック サイクルテック株式会社

電動アシスト自転車バッテリー市場対策室

電話番号：0120(870)355

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・事業者指定休業日を除く。）

ウェブサイト：<https://panasonic.co.jp/ls/pct/info/eb3/>

(3) ダイキン工業株式会社が製造したエアコンについて（管理番号：A202000766）

①事象について

ダイキン工業株式会社（法人番号：8120001059660）が製造したエアコンを使用中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

調査の結果、当該製品のファンモーターの製造工程上の不具合により、ファンモーターに内蔵された電子部品（チップコンデンサー）がショート（短絡故障）し、過大電流が電気回路に流れたことでファンモーターが発熱・発火し、出火に至ったものと推定されます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2014年（平成26年）10月17日にウェブサイトへの情報掲載、翌18日に新聞社告を行い、対象製品について無償点検及び修理を実施しています。

また、同社は、当該リコールの対象製品以外にも点検及び修理が必要な製品があることが判明したため、リコールの対象範囲（機種及び台数）を拡大することとし、2015年（平成27年）5月15日にウェブサイトへの情報掲載、翌16日に新聞社告を行っています。

③対象製品：機種名、製造番号、対象台数、製造期間

※対象製品については、下記ウェブサイトにて確認ができます。

ウェブサイト：<https://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/1.html>

- 1) 検索ボックスに、お手持ちの製品の機種名を入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。
- 2) 入力した機種が、対象に該当する場合は、表の機種名に色がつきます。

(ア) 2015年5月15日に追加した対象製品の機種名、製造番号は以下のとおりです。
(2006年製)

機種名	製造番号	機種名	製造番号
AN22GIS-W	C004490※	AN28GRS-H	C000490～C000595
AN36GRS-H	C000399～C000490	AN36GRSJ-W	C000543～C000925

※この機種名の対象は1台のみです。

(イ) 2015 年 5 月 15 日に対象台数を追加した製品の機種名、製造番号は以下のとおりです。

(2006～2007 年製)

機種名	製造番号	機種名	製造番号
AN22GKPS-W	C004477～C004559	AN25GKPS-W	C001242～C001364
AN28GKPS-W	C002864～C003089	AN36GKPS-W	C001413～C001436
AN22GKS-W	C025380～C026028	AN25GKS-W	C003913～C004009
AN22GMNS-W	C004620～C004734	AN25GMNS-W	C001552～C001607
AN25GMPS-W	C000992～C001006	AN28GMPS-W	C001577～C001603
AN22GMRS-W	C000515～C000515	AN25GMRS-W	C000430～C000437
AN28GMRS-W	C000869～C000893	AN36GMRS-W	C000355～C000466
AN22GNBS-W	C009524～C009542	AN25GNBS-W	C000741～C000751
AN22GNS-W	C046037～C046829	AN25GNS-W	C004952～C005146
AN22GNSJ-W	C012777～C013051	AN25GNSJ-W	C002870～C002915
AN22GNSK-W	C025472～C025529	AN25GNSK-W	C006484～C006719
AN22GPS-W	C013106～C013182	AN25GPS-W	C002611～C002844
AN28GPS-W	C006247～C006820	AN36GPS-W	C001545～C001706
AN22GPSK-W	C003997～C004013	AN25GPSK-W	C002643～C002813
AN28GPSK-W	C003271～C003452	AN36GPSK-W	C001270～C001408
AN25GRS-H	C000276～C000276	AN25GRS-W	C002104～C002104
AN28GRS-W	C008615～C009504	AN36GRS-W	C002818～C003902
AN22GRSJ-W	C001589～C001589	AN25GRSJ-W	C000654～C000727
AN28GRSJ-W	C001647～C002711	AN36GSS-W	C001373～C001482
AN22GUS-W	C004637～C004818	AN25GUS-W	C001118～C001245
ANC22GNS-W	C001084～C001124	ANC25GNS-W	C000481～C000504
ATN22GSE-W	C027460～C028763	ATN25GSE-W	C008697～C009027
ATP22GSE-W	C005524～C005792	ATP25GSE-W	C002142～C002247
ATP28GSE-W	C002784～C002979	ATP36GSE-W	C001001～C001020
ATR25GSE-W	C002134～C002312	ATR28GSE-W	C005835～C010109
ATR36GSE-W	C001946～C002939	ATS22GSE-W	C002041～C002098
ATS28GSE-W	C002244～C002583	F22GTNS-C	C004956～C005417
F25GTNS-C	C003719～C004056	F22GTNS-W	C072933～C078309
F25GTNS-W	C047932～C048769	F22GTPS-C	C001694～C001856
F25GTPS-C	C001149～C001224	F28GTPS-C	C000826～C000881
F36GTPS-C	C000496～C000564	F22GTPS-W	C009927～C011569
F25GTPS-W	C005916～C006907	F28GTPS-W	C005042～C005782

機種名	製造番号	機種名	製造番号
F36GTPS-W	C003412～C004094	F22GTRS-C	C000472～C000488
F25GTRS-C	C000594～C000611	F28GTRS-C	C000613～C000652
F36GTRS-C	C000406～C000430	F22GTRS-W	C004166～C004295
F25GTRS-W	C003402～C003607	F28GTRS-W	C004127～C004442
F36GTSS-C	C002813～C003062	F22GTSS-C	C000545～C000566
F25GTSS-C	C000737～C000753	F28GTSS-C	C000746～C000797
F36GTSS-C	C000546～C000562	F22GTSS-W	C004214～C004377
F25GTSS-W	C003603～C003787	F28GTSS-W	C004920～C005161
F36GTSS-W	C002931～C003201	—	—

(ウ) 2014 年 10 月 17 日に社告を行った際に公表した対象製品の機種名、製造番号は以下のとおりです。

(2006～2007 年製)

機種名	製造番号	機種名	製造番号
AN25GIS-W	C001234～C001402	AN22GKPS-W	C004560～C004978
AN25GKPS-W	C001365～C001612	AN28GKPS-W	C003090～C003747
AN36GKPS-W	C001437～C001574	AN22GKS-W	C026029～C027297
AN25GKS-W	C004010～C004370	AN22GMNS-W	C004735～C005151
AN25GMNS-W	C001608～C001887	AN22GMPS-W	C001047～C001260
AN25GMPS-W	C001007～C001176	AN28GMPS-W	C001604～C001902
AN22GMRS-W	C000516～C000548	AN25GMRS-W	C000438～C000527
AN28GMRS-W	C000894～C000907	AN36GMRS-W	C000467～C000471
AN22GNBS-W	C009543～C011950	AN25GNBS-W	C000752～C000806
AN22GNSJ-W	C013052～C015740	AN25GNSJ-W	C002916～C003093
AN22GNSK-W	C025530～C029200	AN25GNSK-W	C006720～C007900
AN22GNS-W	C046830～C051161	AN25GNS-W	C005147～C005667
ANC22GNS-W	C001125～C001369	ANC25GNS-W	C000505～C000583
AN22GPSK-W	C004014～C004836	AN25GPSK-W	C002814～C003211
AN28GPSK-W	C003453～C004159	AN36GPSK-W	C001409～C001541
AN22GPS-W	C013183～C015383	AN25GPS-W	C002845～C003713
AN28GPS-W	C006821～C008771	AN36GPS-W	C001707～C002219
AN22GRS-H	C000473～C000564	AN25GRS-H	C000277～C000354
AN22GRSJ-W	C001590～C002991	AN25GRSJ-W	C000728～C001297
AN28GRSJ-W	C002712～C002862	AN22GRS-W	C004300～C006155
AN25GRS-W	C002105～C002692	AN28GRS-W	C009505～C010327
AN36GRS-W	C003903～C003922	AN22GSS-W	C002086～C002584

機種名	製造番号	機種名	製造番号
AN25GSS-W	C000944～C001115	AN28GSS-W	C002846～C003666
AN36GSS-W	C001483～C001886	AN25GUS-W	C001246～C001253
ATP22GSE-W	C005793～C006422	AN22GUS-W	C004819～C004832
ATN25GSE-W	C009028～C010125	ATP36GSE-W	C001021～C001096
ATN22GSE-W	C028764～C033957	ATP28GSE-W	C002980～C003505
ATR28GSE-W	C010110～C011762	ATP25GSE-W	C002248～C002708
ATR25GSE-W	C002313～C003468	ATS28GSE-W	C002584～C003113
ATR22GSE-W	C002476～C003999	ATS22GSE-W	C002099～C002251
F25GTNS-C	C004057～C005439	ATR36GSE-W	C002940～C002994
F22GTNS-C	C005418～C007170	F22GTNS-WR1	C002301～C004900
F22GTNS-W	C078310～C140656	F25GTNS-W	C048770～C087460
F28GTPS-C	C000882～C001139	F22GTPS-C	C001857～C003033
F25GTPS-C	C001225～C001778	F25GTPS-W	C006908～C011478
F36GTPS-C	C000565～C000671	F22GTPS-W	C011570～C020078
F22GTRS-C	C000489～C000611	F28GTPS-W	C005783～C009888
F36GTPS-W	C004095～C007141	F36GTRS-C	C000431～C000547
F25GTRS-C	C000612～C000749	F28GTRS-C	C000653～C000828
F28GTRS-W	C004443～C006435	F22GTRS-W	C004296～C006085
F25GTRS-W	C003608～C005028	F25GTSS-C	C000754～C000901
F36GTRS-W	C003063～C004243	F22GTSS-C	C000567～C000702
F22GTSS-W	C004378～C006295	F28GTSS-C	C000798～C000990
F36GTSS-C	C000563～C000644	F36GTSS-W	C003202～C004704
F25GTSS-W	C003788～C005788	F28GTSS-W	C005162～C006975
AN22HRS-H	C000101～C000469	AN25HRS-H	C000101～C000284
AN28HRS-H	C000101～C000485	AN36HRS-H	C000101～C000380
AN22HRSJ-W	C000101～C001860	AN25HRSJ-W	C000101～C001204
AN28HRSJ-W	C000101～C001810	AN36HRSJ-W	C000101～C000900
AN22HRS-W	C000101～C004216	AN25HRS-W	C000101～C002085
AN28HRS-W	C000101～C007715	AN36HRS-W	C000101～C002874
AN22HSS-W	C000101～C001313	AN25HSS-W	C000101～C000509
AN28HSS-W	C000101～C001273	AN36HSS-W	C000101～C000657
ATR25HSE4-W	C000101～C002143	ATR28HSE4-W	C000101～C005996
ATR22HSE4-W	C000101～C002049	ATS22HSE4-W	C000101～C000737
ATS28HSE4-W	C000101～C000914	ATR36HSE4-W	C000101～C001531
F22HTRS-C	C000101～C000278	F25HTRS-C	C000101～C000278

機種名	製造番号	機種名	製造番号
F28HTRS-C	C000101～C000286	F36HTRS-C	C000101～C000255
F22HTRS-W	C000101～C002111	F25HTRS-W	C000101～C001891
F28HTRS-W	C000101～C002517	F36HTRS-W	C000101～C001510
F22HTRXS-C	C000101～C000313	F25HTRXS-C	C000101～C000337
F28HTRXS-C	C000101～C000383	F36HTRXS-C	C000101～C000255
F22HTRXS-W	C000101～C002017	F25HTRXS-W	C000101～C001902
F28HTRXS-W	C000101～C002416	F36HTRXS-W	C000101～C001732
F22HTSS-C	C000101～C000390	F25HTSS-C	C000101～C000400
F28HTSS-C	C000101～C000405	F36HTSS-C	C000101～C000316
F22HTSS-W	C000101～C002929	F25HTSS-W	C000101～C002109
F28HTSS-W	C000101～C003306	F36HTSS-W	C000101～C001848

(2009～2010 年製)

機種名	製造番号	機種名	製造番号
AN28LGRS-W	C000101～C001380	F28LTGRS-W	C000101～C000902

○対象台数：291,615 台

○製造期間：2006年 8 月～2010年 8 月

2014年（平成26年）10月17日からリコール（無償点検・修理）を実施

※2015年（平成27年）5月15日から対象を拡大

改修率：57.7%（2021年11月30日時点）（対象拡大分を含む。）

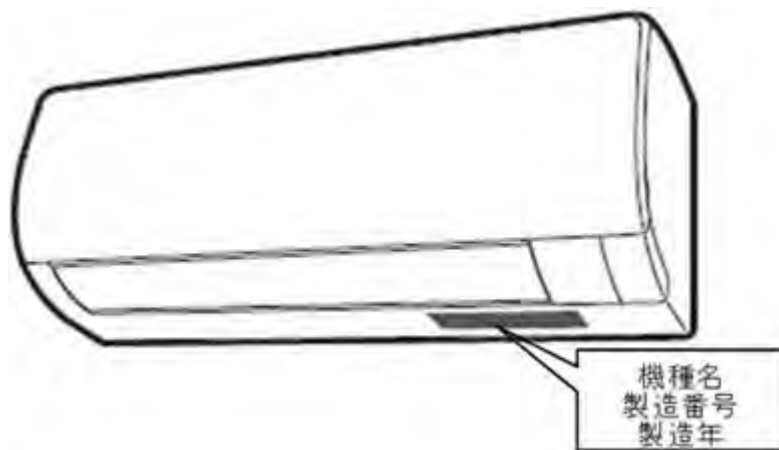
<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（現在調査中及び管理番号：A202000766を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2021年度	0	—	2015年度	2	火災
2020年度	1	火災	2014年度	2 1	火災 火災・軽傷
2019年度	2	火災	2013年度	3	火災
2018年度	1	火災	2012年度	1	火災
2017年度	3	火災	2011年度	3	火災
2016年度	0	—	2010年度	0	—

＜対象製品の確認方法＞

製品下面に室内機の「機種名・製造番号・製造年」を表示しています。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ダイキン工業株式会社 お客様専用窓口

電 話 番 号 : 0120 (330) 696

受 付 時 間 : 平日、土・日・祝日共に 24 時間受付

ウェブサイト : <https://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/>

※同ウェブサイトから無償点検・修理の申込みも可能です。

(4) 日立熱器具株式会社（現 日立グローバルライフソリューションズ株式会社）
が製造した電気こんろについて（管理番号：A202100701）

※組み込み先のキッチンメーカーは不明

①事象について

日立熱器具株式会社（現 日立グローバルライフソリューションズ株式会社（法人番号：8010401057011））が製造した電気こんろ及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から新聞社告及び新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）を実施しています（現在11社が継続実施。）。

③対象製品

対象製品の機種・型式、各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施。

対象台数、改修率

一口電気こんろ

改修対象台数	530,401台（全社合計）
改修率	96.8%（2021年11月30日時点）

上面操作一口電気こんろ（今般事故の型式HT-1290を含む。）

改修対象台数	60,969台（全社合計）
改修率	75.0%（2021年11月30日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数	147,700台（全社合計）
改修率	70.4%（2021年11月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2021年度	0	—	2015年度	3	火災
2020年度	0	—	2014年度	0	—
2019年度	3	火災	2013年度	3	火災
2018年度	1	火災	2012年度	3	火災
2017年度	1	火災	2011年度	5	火災
2016年度	0	—	2010年度	3	火災

※当該事故（管理番号：A202100701）は含まない。

<対象製品の外観>

（写真は HT-1290）



- 「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。
- 「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。
- 改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されているの方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いします。

【問合せ先】

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

電 話 番 号 : 0120(256)557

受 付 時 間 : 9時～13時、14時～17時（土・日・祝日・事業者指定休業日を除く。）

ウェブサイト :

<https://www.hitachi.co.jp/information/important/120220.html>

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

メールアドレス : dkk.jimu@denki-konro.jp

※電話ではなくメールにてお問い合わせください。

ウェブサイト : <http://www.denki-konro.jp/>

(別添)

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等で使用の電気こんろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こんろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こんろ(前面操作)※写真は富士工業製



一口こんろ(上面操作)



複数口こんろ(前面操作のみ)

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こんろメーカー(製社名)	電気こんろ品番
前面操作一口電気こんろ※1	LIXIL	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気 東芝コンシューママーケティング株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名: 松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立グローバルライフソリューションズ (旧社名: 日立無線電機株式会社)	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧社名: 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。)
上面操作一口電気こんろ※1	三菱電機	CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
	LIXIL	HT-1290, HT-1500
複数口電気こんろ※2	日立グローバルライフソリューションズ (旧社名: 日立無線電機株式会社)	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
	LIXIL	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気 東芝コンシューママーケティング株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名: 松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2306, HNT-2200 ^(※3) , NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立グローバルライフソリューションズ (旧社名: 日立無線電機株式会社)	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1. 小形キッチンユニット(冷蔵庫付きタイプ・据置タイプ等もあります)に組み込まれています ※2. 据置き型・ビルトイン型があります ※3. ブランド名はHEC

上記電気こんろは、下記協賛会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こんろ協賛会加盟キッチンユニットメーカー(五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こんろ協賛会加盟会社名・お問い合わせ先(五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こんろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社

0120-126-174 <http://cleanup.jp/>

三協立山株式会社

0120-202-436 <http://www.st-grp.co.jp/>

タカラスタンダード株式会社

0120-200-805 <http://www.takara-standard.co.jp/>

東芝ライフスタイル株式会社

0120-668-401 <https://www.toshiba-lifestyle.co.jp/>

株式会社ハウステック

0120-524-852 <http://www.housetec.co.jp/200707ktchen.html>

パナソニック株式会社 アプライアンス社

0120-391-391 <https://panasonic.co.jp/ap/index.htm>

パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社

0120-116-484 <https://panasonic.co.jp/lis/>

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

0120-256-557 <https://www.hitachi-gls.co.jp/>

富士工業株式会社

0120-500-621 <https://www.fujiioh.com/>

三菱電機株式会社

0120-099-506 <https://www.mitsubishielectric.co.jp/>

株式会社 LIXIL

0120-190-530 <https://www.lixil.co.jp/>

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こんろ協賛会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



Q

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：加藤、鈴木、笹島

電 話：03(3507)9204（直通）

F A X：03(3507)9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：関根、門田

電 話：03(3501)1707（直通）

F A X：03(3501)2805

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別 紙

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日道府県	備考
A202100696	令和3年11月11日	令和3年12月13日	屋外式(RF式)ガス給湯器(都市ガス用)	GK-2001K	株式会社長府製作所	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	千葉県	製造から20年以上経過した製品 令和3年12月2日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年12月2日
A202100702	令和3年10月31日	令和3年12月15日	強制給排気式(FF式)ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	GT-2438SAWX-FF	株式会社ノーリツ	重傷1名	事業所で当該製品で追い炊き後、浴槽に入ったところ、右足に火傷を負った。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	新潟県	製造から10年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年12月6日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日道府県	備考
A201900504	令和元年9月9日	令和元年9月20日	電動アシスト自転車	BE-END636	パナソニック サイクルテック株式会社	火災	当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品のバッテリーは、防滴用のインナーバッグ内部に含まれる水蒸気がリチウムイオン電池セル付近で抜けにくい構造となっていたため、水蒸気が電池セル表面で結露して外装缶カシメ部から電池セル内に浸入し、電池セルの内容物と反応して内部短絡に至り出火したものと推定される。	大阪府	令和元年9月25日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 令和2年4月21日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:60.1%
A201900706	令和元年9月9日	令和元年10月28日	LEDランプ(環形)	PAI-40	慧光株式会社(輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、グロースター方式の照明器具に工事不要で取付可能な製品であり、使用者がインバーター方式の照明器具に当該製品をそのまま接続して使用したため、基板上のFET(電界効果トランジスタ)が異常発熱して出火に至ったものと推定されるが、取扱説明書等の注意表示が不十分であったことも事故発生に影響したものと考えられる。	兵庫県	令和元年11月1日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201900915	令和元年9月10日	令和元年12月10日	LEDランプ(環形)	PAI-40B-C	慧光株式会社(輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、制御基板上のトランジスタ周辺の銅箔パターン及び部品端子間等が絶縁低下して焼損したものと推定されるが、絶縁低下した原因の特定には至らなかった。	東京都	令和元年12月13日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201901147	令和2年2月3日	令和2年2月13日	電動アシスト自転車	BE-EKWT752	パナソニック サイクル テック株式会社	火災	当該製品のバッテリーを充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品のバッテリーは、防滴用のインナーバッグ内部に含まれる水蒸気がリチウムイオン電池セル付近で抜けにくい構造となっていたため、水蒸気が電池セル表面で結露して外装缶カシメ部から電池セル内に浸入し、電池セルの内容物と反応して内部短絡に至り出火したものと推定される。	東京都	令和2年2月18日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 令和2年4月21日からリコールを実施 (特記事項を参照) 回収率: 60.1%
A202000152	令和2年4月16日	令和2年6月5日	LEDランプ(環形)	PAI-40B-CL	慧光株式会社 (輸入事業者)	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品は、電源基板上のトランジスターの端子間で短絡し、銅箔パターンに過電流が流れたため、異常発熱し焼損に至ったものと推定されるが、電源基板の焼損は著しく、事故原因の特定には至らなかった。	山口県	令和2年6月9日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202000575	令和2年8月10日	令和2年11月9日	LEDランプ(直管形)	TUBE-120PA	慧光株式会社 (輸入事業者)	火災	作業場で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、制御基板から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があることから、事故原因の特定には至らなかった。	長野県	令和2年11月13日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202000766	令和2年12月25日	令和3年1月12日	エアコン	AN25GKPS-W (推定)	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品を使用中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品のファンモーターの製造工程上の不具合により、ファンモーターに内蔵された電子部品(チップコンデンサー)がショート(短絡故障)し、過大電流が電気回路に流れたことでファンモーターが発熱・発火し、出火に至ったものと考えられる。	大阪府	令和3年1月15日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 平成26年10月17日からリコールを実施 (平成27年5月15日から対象を拡大) (特記事項を参照) 改修率: 57.7%
A202000839	令和2年12月19日	令和3年2月3日	LEDランプ(直管形)	TUBE-120P-C	慧光株式会社 (輸入事業者)	火災	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、電源基板部から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。	兵庫県	令和3年2月5日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202100699	令和3年5月24日	令和3年12月14日	電子レンジ	DR-D216	ツインバード工業株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	令和3年9月30日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年12月9日
A202100701	令和3年11月20日	令和3年12月14日	電気こんろ	HT-1290(組み込み先のキッチンメーカーは不明)	日立熱器具株式会社 (現 日立グローバルライフソリューションズ株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられる。	東京都	平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率75.0% (上面操作一口電気こんろ合計)

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202100691	令和3年11月30日	令和3年12月13日	電動アシスト自転車	火災 重傷1名 軽傷1名	当該製品のバッテリーを焼損する火災が発生し、2名が火傷を負った。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	千葉県	
A202100692	令和3年12月5日	令和3年12月13日	液晶ディスプレイモニター	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	京都府	令和3年12月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A202100693	令和3年10月12日	令和3年12月13日	折りたたみテーブル	重傷1名	当該製品に座ったところ、天板部の一部が破損し、転倒、臀部を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	群馬県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年12月2日
A202100694	令和3年11月27日	令和3年12月13日	電気冷蔵庫	火災	当該製品及び建物を全焼する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	栃木県	製造から25年以上経過した製品 令和3年12月16日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A202100695	令和3年12月2日	令和3年12月13日	電気炊飯器	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	宮城県	
A202100697	令和3年12月4日	令和3年12月13日	焙煎機(コーヒー豆用)	火災	当該製品を使用中、火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A202100698	令和3年12月9日	令和3年12月14日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	当該製品を使用中、踏切を渡り終える直前に下りてきた遮断機に引っかかって転倒し、列車にはねられ死亡した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A202100700	令和3年11月28日	令和3年12月14日	脚立(三脚、アルミニウム合金製)	重傷1名	当該製品を使用中、転倒し、右肩を負傷した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	香川県	
A202100703	令和3年11月20日	令和3年12月15日	食器洗い乾燥機(ビルトイン式)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	茨城県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202100704	令和3年10月28日	令和3年12月15日	介護ベッド用手すり	死亡1名	施設で使用者(80歳代)が当該製品に首が引っ掛かった状態で発見され、病院に搬送後、死亡が確認された。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年11月30日 介護ベッド用手すりについての注意喚起を実施(特記事項を参照)
A202100705	令和3年11月17日	令和3年12月15日	照明器具(投光器、充電式)	火災	事務所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	三重県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年12月8日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

LEDランプ（環形）（管理番号：A201900706、A201900915）



LEDランプ（環形）（管理番号：A202000152）



LEDランプ（直管形）（管理番号：A202000575、A202000839）

